



8/20・21 市内中学生が平和研修として広島市を訪問しました

半田市は、全国に先駆けて非核平和の実現に関する議会決議を行いました。また、日本非核宣言自治体協議会および平和首長会議にも加盟し、非核平和の実現に向けて様々な取組を行っています。その取組のひとつとして、次世代を担う若者たちに平和の大切さを知ってもらうための「中学生平和研修」を実施しています。今年、乙川中学校と亀崎中学校の生徒が研修に参加し、広島市を訪問しましたので、その体験記を紹介します。

広島平和ツアーに参加して

乙川中学校 2年 あさだ うたな
浅田 唄奈

1. ツアーに参加したきっかけ

私が小学2年生の頃、戦争時に小学生だった方から話を聞きました。そこで戦争中の暮らしや周りの状況などを話してくれました。それで戦争を知り、また戦争の恐ろしさを知りました。それから平和の授業で戦争について学んでいく中で戦争の恐ろしさをより知っていき、戦争や核兵器についてもっと学びたいと思いました。

みんなや自分が知っている「戦争は恐ろしいもの」「戦争は二度と起こしてはいけない事」だけでは絶対にダメだと思います。なぜ戦争は二度と起こしてはいけない事なのか、どのように辛かったのかを絶対にみんなが知っておかないといけないと思います。

だからこれを機に実際の現場に行き沢山の資料を見てどうして二度と起こしてはいけないのか、戦場にいた人々はどうのような生活を送っていたのか、戦っていた人々はどうのような気持ちだったのかを詳しく知り私達もその辛さを感じ取り、多くの情報を私達が沢山のの人に発信して辛さを知ってもらいたいと思ったからです。

2. 広島平和ツアーで学んだこと

原爆ドームを実際に見て元の写真と比べた時、原爆の威力に驚きました。そして、原爆ドームはチェコの人によって造られた建物であったので原爆の被害を受けた今でも形を残して戦争の生々しさを伝えてくれる建物となっています。しかし原爆にあった被爆者の方は原爆ドームを見ると当時を思い出すため撤去して欲しいと言う方もいましたが、今では世界遺産に登録され永久保存となりました。実物が残されて見るのが辛い方もいますが、それだけ辛くて絶対忘れてはいけない出来事があったことをこの建物と共に伝えていかなければいけないと思います。

平和記念館公園は水をテーマに出来ています。原爆が落ち沢山の人が「水をください」と言って川に飛び降りそのまま亡くなってしまいました。川には沢山の人がいっぱいになり水が見えないくらい人がいたり、油が混じった黒い雨と言われるものを仕方なく口に入れる人が沢山いました。そのため、平和記念館公園は噴水があったりと水をテーマに造られたそうです。

3. 広島平和ツアーを終えて

私は平和公園・記念館を見て回るたびに心がすごく辛かったし苦しかったです。でも被爆者の方達はこの想い以上の気持ちを毎日のように感じていたと思うと、とても恐ろしく戦争は二度と起こしてはいけないと思いました。そして今、私達がこんなに平和に過ごせているのは本当に素敵で幸せなことだと感じ、この平和を絶対に壊したくないと思いました。

それと共に、日本だけではなくこの世界全体が戦争のない平和な世界になる事を願っています。そのために私達が出来ることは、このような出来事を知らない人達に戦争の辛さや恐ろしさを伝え、二度と起こしてはならない事だと伝えることであり、私達は生きていく上でこの事を決して忘れてはいけないことだと改めて感じる事が出来ました。

